



(峰山市民局：0772-69-0711)



市HP内掲載記事へ

	R6.6末	R6.5末	前月比
0歳～14歳	1,319	1,319	±0
15歳～64歳	6,283	6,300	-17
65歳～	3,804	3,813	-9
合計	11,406	11,432	-26

丹後の棋界は僕たちに任せろ！

藤井聡太竜王・名人の活躍で一躍脚光を浴びるようになった将棋界。峰山にも新たな新星が現れました。

峰山中学校2年生の本田悠涼（ゆうすけ）君と同校3年生の北垣雄祐（ゆうすけ）君です。

小学校1年生の頃、祖父の手ほどきで始めたという本田君は、昨年行われた「第1回舞鶴赤れんが竜王戦」のB級で優勝するなど多くの大会で上位入賞を果たしています。また、連盟主催の大会での成績が認められ、アマ四段の認定を受けるまでに急成長しています。

北垣君が将棋を始めたのは小学校3年生の時。放課後児童クラブで友達と遊びで始めたのがきっかけだそうです。



対局の様子

北垣君は本年5月に行われた「第45回全国中学校選抜将棋選手権大会」の京都府予選でベスト8に残り、メキメキと腕をあげてきました。

本田君より少し遅れて始めた北垣君ですが、現在アマ初段まで駆け上がり、二人は常に良いライバル関係とのこと。二人ともそろって口にするのは、丹後では将棋の大会が少なく、同年代で



本田君

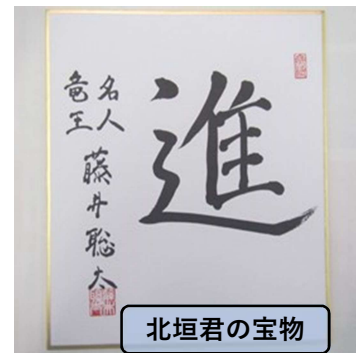
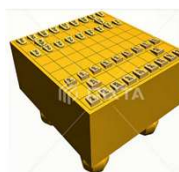
北垣君

対戦するには舞鶴や豊岡など他の地域に遠征しなければならぬことが多い。同じ頃にやり始めた友達もほとんどやめてしまったそうです。

丹後の将棋界がもっと盛り上げればいいのに・・・と想いながら遠征に向かう日々が続きます。

プロ棋士のように、何十手も先を読んで指せるようになるにはまだまだ経験が必要かもしれませんが、強い棋士になれるよう着実に前進を続けていく「w（ダブル）ゆうすけ君」から目が離せません。

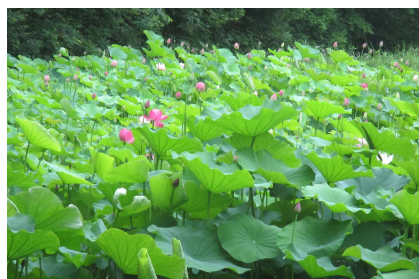
*今後も彼らの活躍を追いかけたいと思います。お楽しみに。



北垣君の宝物

裏面もご覧ください

縁城寺の蓮の花が今年も見ごろを迎えます！ ～奥京都国宝（重要文化財）霊場巡り10ヵ寺に選定～



縁城寺の山門を過ぎ本堂を目指すこと200メートルほど。右手に見えてきたのは若緑の葉をいっぱいに広げた蓮の葉と可憐な花たち。7月に入り次々と淡いピンクや白の花を咲かせています。

同地にお住いの渡利謙太郎さんは、ご自身所有の田んぼだったこの場所に「自慢のお寺の玄関口にふさわしい何かを育てたい」との思いから、蓮の苗を植え育ててこられました。蓮は発芽率が60～70%と低く、苗にするまでが一苦労でした。しかし今では池一面に大きな葉を広げるまでになり、約20種類の花が入り乱れて咲き誇ります。ただし蓮は自然交配するため同じようなピンク色になっってしまうことが多いことです。

蓮の葉は撥水性が高く、雨の日には葉の上に落ちた雨粒が中心へと集まり玉のようになります。その重みで一気に流れ落ちる様は壮観だそうです。

春から周辺の草刈りを始め池の中の草取り、獣害対策の電気柵メンテナンスと忙しい毎日ですが、「好きなことをやっているだけ。私より色々な知識を持った人も来られるので、常に新しい発見がある」とおっしゃっています。

縁城寺は「奥京都国宝（重要文化財）霊場巡り10ヵ寺」に丹後で唯一選ばれ、今後はツアーのお客さんも増えるようです。あと10年は頑張りたいとおっしゃっていますが、「丹後の蓮寺」と呼ばれるようになるまでそう遠くはない気がします。

今一度防災の大切さを 見つめ直しましょう

元旦に起きた能登半島地震では、お正月の家族団らんのひと時を自然の脅威が襲いました。

丹後震災から間もなく100年を迎えるにあたり、改めて防災意識の高揚と備えの大切さを再認識する機会です。

昨年度は大規模災害の想定訓練が峰山中学校で行われましたが、本年度は各区・地区での訓練となります。改めて防災マップの確認や避難グッズの点検も含め「防災」を見つめ直しましょう。

峰山町区長会では本年度の研修会を地域防災に特化して計画されており、現在進めている新コミュでも今後の防災は区を超えた範囲で進めていくことを視野に入れ、各地区での協議が進められています。

*令和5年度 罇留区の防災訓練の様子



要支援者は車いすです...



チェーンソーの操作講習会

本年度の防災訓練は
8月25日（日）です